

障がい児・者への発達支援

～豊かなコミュニケーションを育むために～

学習会の概要・・・

「ことば」はコミュニケーションの有力なツールのひとつです。しかしながら、肢体不自由や知的障害、発達障害のある子ども（人）とのコミュニケーションにおいて、その「ことば」に頼ることが難しい場合がしばしばあります。

そんな子どもたちに対して、その子のからだの動き（動作）に働きかけることで、コミュニケーションや認知の力を育む手法が広く研究され、実践されています。

今回の学習会では、実際にその手法を生かしたコミュニケーション支援のあり方をワークショップ等の体験を通して紹介します。



[日 時]

平成27年10月31日（土）

10時00分～15時30分

[場 所]

長野県上田養護学校

日 程

- 9:30～ 受付
- 10:00～ 開会式
- 10:10～ 講義・ワークショップ
（途中休憩を挟んで）
- 12:00～ 昼食・休憩
- 13:00～ 講義・ワークショップ
（途中休憩を挟んで）
- 15:00～ まとめの会
- 15:30 終了

参加費 1,000円

参加申込み先 申込用紙は裏面

長野県心理リハビリテーション研究会事務局
（上田養護学校教諭 今井友陸）
電話 090-9665-3110
FAX 026-214-7342
メール：imayu428@bell.ocn.ne.jp
研究会ホームページ：http://www.kennetsys.info/11

講師のご紹介

東洋大学文学部教育学科教授
日本リハビリテーション心理学会常任理事

おがた としお
緒方 登士雄 先生

[所属・専門]

日本発達障害学会、日本心理臨床学会
日本リハビリテーション心理学会
日本教育心理学会、日本臨床動作学会
日本特殊教育学会、日本心理学会

[著書・論文]

- ・重度・重複障害児の「自立活動」における動作学習の意義－自立活動の授業をデザインするための視点(案)－
- ・特別支援教育におけるスクールカウンセラーの役割－通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒への支援を中心にして－
- ・障害児教育のこれから－特殊教育から特別支援教育へ－

